

資料名：二通の手紙

ねらい：法や決まりを守ることが、自他を守ることに関心、規則や決まりを進んで守っていかうとする態度を養う。【遵法精神、公德心 C(10)】

	基本発問と予想される生徒の反応	指 導・援 助
導 入	<p>◇規則やルールがあつてよかつたと思つたこと、嫌だと思つたことはあるか。</p> <ul style="list-style-type: none"> みんなが平等に生活できる。 安心する。 自由がない。 窮屈な感じがする。 	<ul style="list-style-type: none"> 価値につながる導入を行う。最後に自分の生活を振り返る際に、授業の最初と最後での自身の変容に気付ける一つと手立てとなると考える。あまり時間はかけない。
展 開	<p>◇資料を読む。</p> <p>○なぜ、元さんは規則を無視して子どもたちを入園させたのだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> 子どもたちを喜ばせたい。 せっかく来たから、見せてやりたい。 いつも動物園の中に入れず、かわいそうだったから。 弟を思う姉の気持ちを大切にしたい。 まだ入園終了時刻からそれほど経っていないから、大丈夫だろう。 <p>○事務所の中で連絡を待つ元さんは、どんな気持ちだったのだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> とんでもないことをしてしまった。 かわいそうだけど、入れなければよかつた。 子どもたちに何かあつたら、どうしよう。 多くの職員にも迷惑をかけてしまい、申し訳ない。 せめて、自分がついて行けばよかつた。 	<ul style="list-style-type: none"> この発問によって、「規則を破っていることは知っているが、子どもたちのことを思つての行動だから、大丈夫だろう。」という元さんの子どもたちに対する思いやりから判断したことを押さえる。また、共感的に受け止め、「この気持ち分かるよね。」と促していくことを大切にする。 この発問によって、「子どもたちのためにと思つて規則を破つたことが、多くの人に迷惑をかけることにつながってしまった。」という元さんの不安な気持ちや後悔する気持ちを押さえる。
前 段	<p>◇二通の手紙を受け取つた主人公の様子を確認する。</p> <p>◎元さんは、この年になつて何を初めて考えさせられたのだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> 良かれと思つてしたことでも、規則を破ることで取り返しのつかないことになつていたかもしれない。 自分の思いで決めてはいけない。 何のために規則があるのかを考えさせられた。 <p>○元さんは、子どもたちのことを思つて入園させたのだから、考え直す必要はないのではないか。(深めの発問)</p> <ul style="list-style-type: none"> 子どもたちのためにと思つて規則を破つたことが、子どもたちを危険な目に遭わせてしまったのだから、やっぱり規則を破つてはいけない。 規則を破ることで、多くの人に迷惑をかけるから、規則は守らなければならない。 規則はみんなが安全に過ごすためにあるのだから、軽々しく考へてはいけない。 	<ul style="list-style-type: none"> この発問によって、元さんの「規則を守ることの意義」に迫る。 さらに価値に迫る深めの発問では、子どもたちのためだと思つて規則を破つたことが、子どもたちを危険な目に遭わせてしまつたり、関係のない大勢の人に迷惑をかけるしまつたりしたことに触れ、規則を守ることが自他を守ることにつながることを気付かせたい。そのために、まず自分の考えを道徳ノートに記述させることで、じっくりと考えさせ、意図的な指名につなげる。その中で価値を共有し、一般化していく。
展 開 後 段	<p>◇価値に基づいて、今までの自分を振り返り、これからの生活について記述する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 規則やルールを守るとは自分自身や周りの人を守ることにつながり、規則やルールはみんなが安心して生活できるようにするためにあるということが分かりました。「これくらい、いいだろう。」といった自分の弱さに負けたり、周りに流されたりして、規則を守れないことがあつたので、自分のことだけでなく、周りの人のことも考へて行動したいです。 	<ul style="list-style-type: none"> 規則や決まりを守ることが自他を守り、よりよい社会につながるることについて、これまでの生活やこれからの生活について振り返る。自己を見つめる時間を十分に確保し、じっくりと考えさせたい。なかなか自分の過去を想起できない生徒については、具体的な事例を示していく。